

# 北茨城市人口ビジョン・創生総合戦略

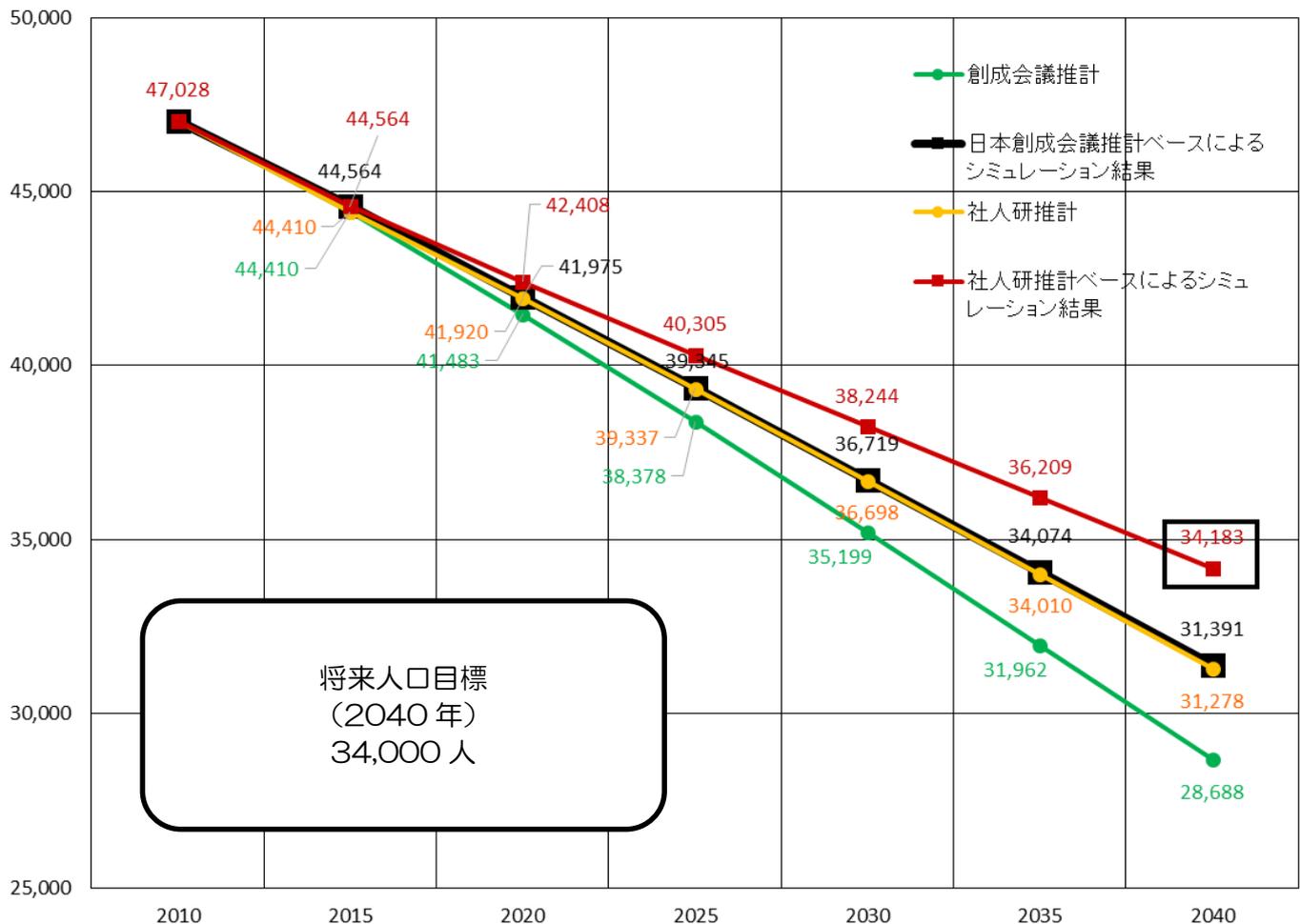
## ～ひとの健康 まちの健康の実現に向けて～

北茨城市では、人口減少、少子・高齢社会に対応し、将来にわたり活力を維持し、さらに発展していくことを目指し、北茨城市人口ビジョン及び北茨城市創生総合戦略を策定しました。その概要についてお知らせします。

### 北茨城市人口ビジョン

北茨城市の人口は、1995年（常住人口調査では1998年）をピークに減少傾向にあります。今後も減少傾向は続くものと見られ、2040年には28,000人から31,000人程度にまで減少する見込みとなっています。市では、人口減少を少しでも緩やかにし、2040年の人口を34,000人とすることを目指します。

#### 北茨城市の人口の将来展望



# 北茨城市創生総合戦略

将来人口目標の達成に向け、雇用の創出、交流人口の拡大、結婚・出産・子育て支援、安心・安全なまちづくりの4つの基本目標に基づき、「人口減少と地域経済縮小の克服」と「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を実現するための具体策を示しています。その主なものをお知らせします。

## 基本目標1 安定した雇用を創出する

- 首都圏との近接性、常磐自動車道等の交通インフラによる立地の優位性や、産業技術の集積等を生かし、企業誘致や新分野の進出促進・新規創業の促進を図ります。
- 中小企業において、新製品・新技術の開発や高度な技能等を担うことのできる人材を育成します。また、行政が人材募集に協力することで、地域産業等を支える中小企業における人材の確保を図ります。
- 地域資源を生かした競争力のあるものづくり産業の育成を図るとともに、サービス産業の付加価値向上、地場産業におけるブランド力や小規模事業者等の経営力の強化、さらには、農業の6次産業化、自然環境等を生かした観光の振興など、北茨城市の特性を生かした地域経済の活性化に取り組み、雇用の創出を図ります。

	項目	現状値	目標値
成果指標	高校卒業者の就業による転出率	H26 : 8.0%	H31 : 7.7%
	創業・第二創業による雇用創出数	H26 : 0人	H27~31 : 累計75人

### 主な具体的事業

- 企業誘致奨励金事業
- 空家バンクにおける空き店舗の紹介
- 経営発達支援事業（商工会連携）
- 販路開拓支援事業
- 飼料米・稲発酵粗飼料（WCS）用稲等転作の奨励
- 創業支援事業
- 就職支援事業（商工会連携）
- 新商品開発支援事業
- 新規就農総合支援事業給付金事業
- 農林水産業6次産業化の推進

## 基本目標2 新しい人の流れをつくる

- 東京圏からの移住や二地域居住の希望者の視点に立ち、しごとや住まい、教育等の移住等に関する総合的な環境整備を行うとともに、移住等の希望者向けの情報提供や移住に興味を持てる魅力あるまちづくりに取り組みます。
- 大学進学時や大学卒業後における市外への転出が多くなっていることから、県内の高校・大学等における地域を志向する意識の醸成や地域ニーズに応じた人材の育成を図るとともに、より魅力のあるまちづくりに取り組みます。
- 北茨城市の特色を活かした観光・交流イベントを推進するとともに、情報発信、地域イメージの向上、魅力化による交流人口の拡大に取り組みます。

	項目	現状値	目標値
成果指標	市町村間人口移動数	H22~26 : △1,575人	H27~31 : △943人

### 主な具体的事業

- お試し居住推進事業（県連携）
- 芸術によるまちづくりへの地域おこし協力隊の活用
- クリエイティブ企業等進出支援事業（県連携）
- 県北アートフェスティバル「県北芸術祭」（県連携）
- 観光拠点、宿泊施設等のWi-Fi環境整備
- 観光PR動画の作成
- 空家バンクの設置
- 定住促進奨励金の導入
- 農園オーナー制度の導入
- 東京芸術大学・茨城大学と連携した芸術によるまちづくり
- 観光スポットウェブカメラの設置
- 観光周遊バス運行事業

## 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 若者が結婚し、自分の家庭を持つことに希望が持てる環境づくりを推進するとともに、結婚支援活動を展開します。
- 男女共同参画意識の啓発等を通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。
- 妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行うとともに、家庭と行政、企業、地域等が連携を図り、社会全体で子育てを支援する環境の整備を図ります。
- 特色ある教育の推進等により、教育環境の充実を図ります。

成果指標	項目	現状値	目標値
		合計特殊出生率	H22 : 1.42

※ 2040年までに1.80とすることを目標としているが、平成31年（2019年）までには数値が変動しない。

### 主な具体的事業

- ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の導入
- 不妊治療助成事業
- 保育料の低減・援助（第2子無料化）
- 定住促進奨励金（子育て世帯上乘せ）の導入
- 子育て世帯への家賃補助
- 学生ボランティアの活用による学校活性化
- 野口雨情の歌を歌おう集会の開催
- 茨城国体ソフトテニス選手強化事業
- 婚活イベントの実施
- 出産祝金給付事業
- 子育て世帯応援商品券
- 子育て世帯専用住宅の造成
- 小児医療費助成事業（中学生まで完全無料）
- 大学等との連携による体育の活性化
- 「おいしい北茨城給食」の発信
- 奨学金の導入

## 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、他の地域と連携する

- 子どもから大人まで生涯を通じて、心身ともに健康で暮らせるような地域づくり、医療環境の充実を図ります。
- 地域防災や防犯対策の充実、行政サービスの向上により、すべての市民が住みやすいと思える地域づくりを推進します。
- 余暇活動の充実、コミュニティの維持を図り、より充実した生活を送れる地域づくりを推進します。
- 地方の自立・活性化に向け、活力ある経済・生活圏を形成するため、近隣の高萩市及び日立市、さらにはいわき市と連携した取組みを推進します。

成果指標	項目	現状値	目標値
		北茨城市に住み続けたいと感じる市民の割合	H25 : 57.3%

### 主な具体的事業

- 総合相談支援センターの設置
- 地域医療教育ステーション事業（医学生・指導医の受入）
- 家庭医療センターの運営
- 地域包括支援センター（南部）の設置
- 関本第一小学校跡地を活用した北部防災拠点施設・生涯学習センターの設置
- 域内の移動性の向上（幹線道路の整備、鉄道の機能強化に向けたJRへの働きかけ）
- 南中郷駅周辺における新市街地の形成に向けた調査
- 健康ポイント制度の創設
- ラピッドカー（ドクターカー）の導入・運営
- 在宅医療の推進



観光ナビゲーター  
あんちゃん



イメージキャラクター  
こうちゃん